

森林動物学実験課題(2012.6.8、担当:久保田)  
コクワガタの各部分の上翅(体長の指標)に対する相対成長

♂について

- 後翅  
相対成長係数:0.95;有意に線形回帰でき( $p<0.05$ )、係数は1から有意に離れてはいない( $p>0.05$ )。すなわち、相対成長なし。
- 大あご  
相対成長係数:3.66;有意に線形回帰でき( $p<0.001$ )、係数は有意に1より大きい( $p<0.05$ )。すなわち、正の相対成長を示す。
- 交尾器  
相対成長係数:0.39;有意に線形回帰でき( $p<0.05$ )、係数は有意に1より小さい( $p<0.05$ )。すなわち、負の相対成長を示す。

♀について

- 後翅  
相対成長係数:0.96;有意に線形回帰でき( $p<0.05$ )、係数は1から有意に離れてはいない( $p>0.05$ )。すなわち、相対成長なし。
- 大あご  
相対成長係数:0.86;有意に線形回帰でき( $p<0.05$ )、係数は1から有意に離れてはいない( $p>0.05$ )。すなわち、相対成長なし。
- 交尾器  
相対成長係数:-0.21;有意に線形回帰できない( $p>0.05$ )。すなわち、体長とは無関係。

